

別記様式

令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月6日

北海道教育委員会教育長 様

北海道千歳高等学校長 木 幡 かおる



次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>1 豊かな感性を育み、多様性を尊重する態度を養う。</p> <p>2 自ら学び、探究し、適切に表現できる能力を伸ばす。</p>
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<p>①1人1台端末を活用した個別学習が定着し、自分のペースで課題に取り組む姿が見られた。</p> <p>②単元構成の工夫により、生徒の「問い」を軸にした探究的な授業場面の設定を意識することができていた。</p>	<p>①教育活動は概ね目標どおり達成されているが、生徒の実態や個人差を踏まえ、より一人ひとりに寄り添った指導や支援の充実が必要。</p> <p>②地域資源を活用した学習機会の充実を図ることで、教育活動の一層の充実が期待される。</p>
改善方策	<p>①端末活用を単なる検索に終わらせず、課題解決型学習や対話的活動を取り入れることで、情報を比較・吟味し、自分の考えを再構築する思考力の育成を図る。</p> <p>②学校での学びを家庭での自学自習に繋げる「セルフマネジメント力」の強化を意識した生徒支援を展開していきたい。</p>	
生徒指導	<p>①SGE等の導入により、他者を認め合う学級風土が醸成され、不登校傾向の生徒への支援が迅速化した。</p> <p>②行事において、役割を分担し他者のために動く「貢献」の意識が高まった。</p>	<p>① 生徒同士や周囲と協働する姿勢をさらに育む教育活動の充実が期待される。</p> <p>② 社会的自立に向けた支援の充実を図ることが求められる。</p>
改善方策	<p>①教員主導の指導から、生徒が自ら課題を見つけ解決する「生徒会・委員会活動」の活性化を図りたい。</p> <p>②失敗や葛藤を乗り越え、自己を調整する「レジリエンス(しなやかさ)」を育む指導を職員全体で共有し、生徒対応にあたる。</p>	
進路指導	<p>①キャリアガイダンスや進路講話において、生徒一人ひとりに応じた助言を行うと、目標の設定や計画的な取組を促進することができた。さらに、段階的な支援を行ったことにより、主体的に行動しようとする意識の向上が見られた。</p> <p>③教職員間での情報共有を密に、定時制教育振興会の協力を得て進路行事を実施することで、生徒の進路実現に向けた支援体制を整え、少人数ならではの連携の取組やすさを生かした指導ができた点である。</p>	<p>①生徒一人ひとりに応じた丁寧な支援により、主体的に進路を考えようとする意識の高まりが見られる点を評価します。今後は、地域や社会とのつながりを感じられる機会をさらに充実させ、より一層の取組の発展を期待します。</p> <p>②教職員間の連携や教育振興会の協力による取組は評価できる。今後は、その基盤を生かして外部機関と多様に協働する機会を広げること、生徒が主体的に進路を選択・決定できる力をより一層育んでいくことを期待したい。</p>
改善方策	<p>①生徒の進路意識や学力差が大きい実態を踏まえ、個々の状況に応じた段階的なキャリア支援や学習支援の充実を図る必要がある。特に早期からの目標設定と継続的な指導の工夫が課題である。</p> <p>②教職員間の連携や外部機関・定時制教育振興会との協働をさらに強化し、進路情報の提供や体験的な学習機会を充実させることで、生徒の進路選択の幅を広げる取組を推進する必要がある。</p>	
公表方法	<p>・学校ホームページ</p>	

3 添付資料

- (1) 令和7年度 自己評価
- (2) 令和7年度 学校評価 生徒・保護者アンケート
- (3) 令和7年度 学校関係者評価

令和7年度 学校評価「年度末評価」結果一覧

北海道千歳高等学校定時制

分類	NO	評価項目	R7期末	R7中間	R6期末
1 関学 す校 運こ 営に	1	学校教育目標や重点目標を学校全体で共有することができたか。	4.5	4.6	4.3
	2	分掌や学年が連携して、学校課題の解決を図る体制ができていたか。	4.9	4.9	4.5
	3	生徒の事故などを防止し、緊急事態に適切な対応できる危機管理体制ができていたか。	4.9	4.9	4.6
2 関と家 すの庭 る連や こ携地 とに域	4	保護者や地域へ適確に情報発信を行う事ができたか。	4.5	4.5	4.1
	5	保護者や地域の要望などを把握し、連携協力を図ることができたか。	4.5	4.6	3.8
	6	定時制教育振興会との連携が十分に図られていたか。	4.8	4.5	4.4
3 学習指 導・環 境に関 するこ と	7	生徒個々の実態に応じたきめ細かい学習指導や学び直しに努めることができたか。	4.9	4.9	4.6
	8	生徒の興味関心を喚起し、生徒が主体的となる授業を工夫することができたか。	4.8	4.5	4.4
	9	授業時数の確保に努めることができたか。	5.0	4.9	4.9
	10	授業評価や研修などに取り組み、指導力の向上に努めることができたか。	4.8	4.8	4.4
	11	高大連携事業の推進に努めることできたか。	4.3	4.4	4.1
	12	教育課程、入選、考査、時間割などについて主幹分掌として適切に役割を果たすことができたか。	4.9	4.9	4.8
	13	情報資産(ハードウェア、ソフトウェア)の保守管理を適切に努めることができたか。	4.6	4.5	4.3
	14	校務支援システム・教育支援システムの活用をサポートできたか。	4.6	4.6	4.3
4 生徒指 導に関 するこ と	15	基本的な生活習慣の確立を図る指導ができたか。	4.5	4.1	4.1
	16	生徒の公共マナーや交通安全マナーなど、道徳教育を行う事ができたか。	4.6	4.5	4.5
	17	心身の健康や安全に関する指導を効果的に行うことができたか。	4.8	4.6	4.6
	18	他人を尊重する人間関係を築けるよう指導ができたか。	4.8	4.6	4.5
	19	いじめに関わる指導を迅速・適切に行うことができたか。	4.8	4.7	4.9
	20	SNSなどの望ましい利用について、適切に行うことができたか。	4.8	4.6	4.5
	21	問題行動に対する適切な指導を行うことができたか。	4.8	4.7	4.8
	22	生徒会活動を通じて、生徒の自立・実践の精神を養うことができたか。	4.6	4.6	4.3
	23	校舎内外の美化と環境整備を進めることができたか。	4.8	4.4	4.6
	24	避難訓練などを通して防災安全指導の徹底を図ることができたか。	4.9	4.7	4.6
	25	教育相談活動を実施することができたか。	4.8	4.7	4.5
5 進路指 導に関 するこ と	26	学年に応じた段階的な進路指導を行うことができたか。	4.8	4.6	4.5
	27	進路を適切に選択できるよう情報提供に努めることができたか。	4.8	4.6	4.6
	28	生徒が自分の適性や課題を理解し、進路目標を設定する指導を行うことができたか。	4.6	4.4	4.3
	29	生徒が進路希望を実現する力を身につけさせることができたか。	4.8	4.4	4.1
6 現在 の学 校課 題	30	働き方改革を推進し、生み出した時間を効果的に利用できる体制ができているか。(先を見通した時間の使い方やICTを活用した時間短縮の工夫など)	4.4	4.6	4.4
	31	GIGAスクール構想及び一人一台端末の活用が継続的・効果的に行われていますか。	3.8	4.0	3.9
	32	校外での探究学習を数多く取り入れることで、主体的・対話的で深い学びを実践し、生徒一人ひとりの可能性を引き出すことはできていましたか？	4.5	4.4	

5 たいへんよい 4 よい 3 ふつう 2 あまりよくない 1 よくない

※質問No.32は、令和7年度より設定しているため「R6期末」の評価が空欄となっています。

令和7年度 学校評価「生徒及び保護者」結果一覧

北海道千歳高等学校定時制

分類	NO	評価項目	R7期末	
令和7年度 学校教育目標の指導重点事項	重点目標	Q1 周りの人の考えや感じ方の違いを受け入れ、互いを尊重して行動することができる。(重点①)	3.5	
		Q1 お子さんは、学校生活を通して「豊かな感性を育み、多様性を尊重する態度」を身に付けていると感じますか。(重点①)	3.8	
		Q2 自分で課題を見つけ、調べたり、考えたことをわかりやすく表現することができる。(重点②)	3.2	
		Q2 お子さんは、自ら学び、探究し、考えたことを適切に表現する力が伸びていると感じますか。(重点②)	3.8	
		学習指導	Q3 授業で学んだ内容を理解し、復習や練習を通して自分で学びを深めることができる。(学習①)	3.2
			Q3 授業を通して、基礎・基本の学習内容がしっかり定着していると感じますか。(学習①)	3.9
	Q4 授業中に自分の考えを積極的に発言したり、友達と話し合ったりして学ぶことができる。(学習②)		2.9	
	Q4 授業において、生徒が主体的に学び、話し合いや振り返りを通して深く学ぶ機会があると感じますか。		3.9	
	Q5 探究的な活動を通して、自分の将来や社会との関わりについて考えることができる。(学習③)		3.4	
	Q5 総合的な探究の時間などを通して、進路や将来を考える学び(キャリア教育)が充実していると感じますか。(学習③)		3.8	
	生徒指導	Q6 自分を大切にしながら、他人の考えや立場も尊重することができる。(生徒①)	3.3	
		Q6 学校では、思いやりや多様性を尊重する態度を大切にしている指導が行われていると感じますか。(生徒①)	3.5	
		Q7 困っている友達や悩んでいる人に気づいたとき、声をかけたり相談したりすることができる。(生徒②)	3.1	
		Q7 学校・家庭・関係機関が連携し、生徒一人ひとりの心の変化に気づき、支援していると感じますか。(生徒②)	3.8	
		Q8 クラスや部活動で、自分の役割を果たしながら仲間と協力することができる。(生徒③)	3.2	
		Q8 特別活動や部活動を通して、生徒の自主性や協調性が育まれていると感じますか。(生徒③)	3.4	
	進路指導	Q9 命を大切に、相手を思いやる関係をつくろうとしている。(生徒④)	3.7	
		Q9 お子さんは、人との関わりの中で、他者を尊重し良好な人間関係を築く力が育っていると感じますか。(生徒④)	3.7	
		Q10 自分の将来や生き方について考え、自分らしい目標を持つようとしている。(進路①)	3.2	
		Q10 学校では、社会的・職業的自立を見据えたキャリア教育が充実していると感じますか。(進路①)	3.7	
		Q11 自分の進路や目標の実現に向けて、計画的・主体的に学習などに取り組んでいる。(進路②)	2.9	
		Q11 お子さんは、進路実現に向けて必要な力(計画性・基礎学力・自立性・自主性)を身に付けていると感じますか。(進路②)	3.5	
	健康・安全指導	Q12 先生や外部講師の話聞き、自分の進路選択に生ずることができる。(進路③)	3.3	
		Q12 教職員や関係団体との連携により、生徒一人ひとりの進路実現が効果的に支援されていると感じますか。(進路③)	3.5	
Q13 スマートフォンやSNSなどの使い方について、ルールやマナーを守っている。(健安①)		4.1		
Q13 お子さんは、情報機器の適切な使い方やマナーについて理解し、実践できていると感じますか。(健安①)		3.7		
Q14 学校生活に応じた生活リズムを確立し、自らの健康の保持増進や交通安全・防犯に対する意識を高めることができる。(健安②)		3.6		
Q14 学校では、基本的な生活習慣や交通安全、防犯に関する指導が行われていると感じますか。(健安②)		3.8		
感想・意見	Q15 悩みがある時には、相談できる相手がいれば、先生や友達との関わりの中で安心して過ごすことができる。(健安③)	3.3		
	Q15 学校は、外部機関や専門家と連携し、相談しやすい体制づくりに努めていると感じますか。(健安③)	3.1		
	Q16 防災訓練などの学びの中で安全意識を高め、災害時に自分がどう行動すべきか、理解を深めることができた。(健安④)	3.9		
	Q16 学校では、防災に関する学びの機会を通して、非常時に適切に行動できる力を育てていると感じますか。(健安④)	3.4		
	Q17 1年間を振り返り、自らが成長できた体験やこんな体験がしてみたいなど、感想や意見があれば記入してください。			
	Q17 今年度3月当初からのお子様の学校生活や学校等の連携を通じて、評価できる取組や改善が必要だと感じる内容がありましたら、ご記入ください。 ①動物園と水族館いきたい ①参観日をして欲しい ②子供に寄り添っていると感じる場面がたくさんあるのでそのままいて欲しいです。 ③すみません、子供とほぼ会話が無いので分からないことばかりです。 ④自分達は悪くないのに、注意を受けた事が何度かあるようなので、鼻息せず一人一人公平に接して欲しい。 ⑤電車を使った課外授業は良いと思います ⑥今は気持ち安定して学校に通うことができているので、このまま通い続けてほしいと思います。 ⑦真面目に学校に通って勉強している子をしっかりと守って欲しい			

★各質問項目における上段は生徒、下段は保護者の質問内容と評価平均値である

【評価基準】 5 そう舞う 4 大体そう思う 3 あまりそう思わない 2 思わない 1 わからない

令和7年度 学校関係者評価 集計結果(定時制)

	分類	NO	評価項目	適正である (人)	適正でない (人)	自己評価 R7期末
1	学校運営 に関する こと	1	学校教育目標や重点目標を学校全体で共有することができたか。	5	0	4.5
		2	分掌や学年が連携して、学校課題の解決を図る体制ができていたか。	5	0	4.9
		3	生徒の事故などを防止し、緊急事態に適切な対応できる危機管理体制ができていたか。	5	0	4.9
2	家庭や 地域との 連携に関 すること	4	保護者や地域へ適確に情報発信を行う事ができたか。	5	0	4.5
		5	保護者や地域の要望などを把握し、連携協力を図ることができたか。	5	0	4.5
		6	定時制教育振興会との連携が十分に図られていたか。	5	0	4.8
3	学習指導・ 環境に関 すること	7	生徒個々の実態に応じたきめ細かい学習指導や学び直しに努めることができたか。	5	0	4.9
		8	生徒の興味関心を喚起し、生徒が主体的となる授業を工夫することができたか。	5	0	4.8
		9	授業時数の確保に努めることができたか。	5	0	5.0
		10	授業評価や研修などに取り組み、指導力の向上に努めることができたか。	5	0	4.8
		11	高大連携事業の推進に努めることできたか。	5	0	4.3
		12	教育課程、入選、考査、時間割などについて主幹分掌として適切に役割を果たすことができたか。	5	0	4.9
		13	情報資産(ハードウェア、ソフトウェア)の保守管理を適切に努めることができたか。	5	0	4.6
		14	校務支援システム・教育支援システムの活用をサポートできたか。	5	0	4.6
4	生徒指導 に関する こと	15	基本的な生活習慣の確立を図る指導ができたか。	5	0	4.5
		16	生徒の公共マナーや交通安全マナーなど、道徳教育を行う事ができたか。	5	0	4.6
		17	心身の健康や安全に関する指導を効果的に行うことができたか。	5	0	4.8
		18	他人を尊重する人間関係を築けるよう指導ができたか。	5	0	4.8
		19	いじめに関わる指導を迅速・適切に行うことができたか。	5	0	4.8
		20	SNSなどの望ましい利用について、適切に行うことができたか。	5	0	4.8
		21	問題行動に対する適切な指導を行うことができたか。	5	0	4.8
		22	生徒会活動を通じて、生徒の自立・実践の精神を養うことができたか。	5	0	4.6
		23	校舎内外の美化と環境整備を進めることができたか。	5	0	4.8
		24	避難訓練などを通して防災安全指導の徹底を図ることができたか。	5	0	4.9
5	進路指導 に関する こと	26	学年に応じた段階的な進路指導を行うことができたか。	5	0	4.8
		27	進路を適切に選択できるよう情報提供に努めることができたか。	5	0	4.8
		28	生徒が自分の適性や課題を理解し、進路目標を設定する指導を行うことができたか。	5	0	4.6
		29	生徒が進路希望を実現する力を身につけさせることができたか。	5	0	4.8
6	現在の学 校課題	30	働き方改革を推進し、生み出した時間を効果的に利用できる体制ができているか。(先を見通した時間の使い方やICTを活用した時間短縮の工夫など)	5	0	4.4
		31	GIGAスクール構想及び一人一台端末の活用が継続的・効果的に行われていますか。	5	0	3.8
		32	Q32 校外での探究学習を数多く取り入れることで、主体的・対話的で深い学びを実践し、生徒一人ひとりの可能性を引き出すことはできていましたか？	5	0	4.5
				平均		4.7